



# NPO法人 はぴふる

〒794-0051  
愛媛県今治市高地町  
2丁目1878-5  
TEL/fax (0898) 32-3326  
happyfull@seagreen.ocn.ne.jp



## 祝！一周年

生活介護事業所はぴふる 所長 相原美佐

生活介護事業所はぴふるは、10月1日で1周年を迎えることができました。これも皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

初めてのことばかりで、ひたすら一生懸命走り続けて、気が付けば1年が経っていた・・・というのが実感で、各関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしたと思います。今の事業所があるのは、利用者様やご家族様をはじめ各関係者の方々との、一人一人の出会いに恵まれたおかげです。

職員一同まだまだ未熟で試行錯誤の毎日ですが、「利用者様と共に幸せな時間を過ごして、宝物が一つ一つ増えていけるように・・・」との願いを込めて引き続き努力して参りますのでこれからも変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 発達障害理解のためのセミナー

10月18日(土) 10:00~16:00

主催：今治市社会福祉協議会・発達障害支援連絡会

つばさ発達クリニック院長 藤岡宏先生の特性理解についての講義をはじめ、発達障害の方を支援されている施設や保護者の方などが実践的な発表をされる中当事業所も発表の機会をいただきました。

とことん特性について考えることで、支援する側とされる側双方の不自由が軽減されることを強く感じます。日頃取り組んでいる支援の具体的な部分を通じて、「はぴふるの思い」についてお伝えする貴重な機会をいただきました。



## 赤い羽根共同募金



平成26年度共同募金配分金公募事業の助成をいただき、事業所のパンフレットが完成しました。

一周年の節目に思いのこもったパンフレットを作ることができましたこと、ご寄附頂いた皆様にご心よりお礼申し上げます。

・ご寄附・ ありがとうございます

うまい屋東予店様 新名幹二様  
匿名希望 4名様

・賛助会員・ ご加入ありがとうございました

瑞光寺様 阿部明美様 大西美晴様  
篠原珠美様 匿名希望 1名様

■賛助会員募集中 個人・団体…各2,000円(一口)

## ・はぴふるてきな話・

息子には発達障害があります。中学・高校と殆ど学校へ行っていません。でも4月から声優を目指し専門学校へ毎日通い、一人暮らしも始めました。息子を変えたものは何だったのでしょうか？「好きなこと」「先生」「友達」・・・

息子には告知をしていませんので、親が出来ることは、学校に特性を理解してもらうことでした。入学前に電話でお話をさせていただき、「障がい名」「苦手なこと」「得意なこと」「不登校だったこと」「過呼吸になるかもしれないこと」「薬を飲んでいること」など、不安に思っていることを伝えました。学校へも行き、協力してほしいことをお願いしました。「漢字が苦手」とお話しすると、電子辞書を持ち歩いても良いこと、過呼吸の予兆があったら先生に合図をして、いつでも薬を飲んで良いこと、「心配なことがあったら連絡をして下さい。」と先生からアドレスを教えていただきました。

過呼吸に2度なり、学校を続けていけるのか悩んだ時に、「頑張ろうや！」とクラスメイトが言ってくれたそうです。先生からは、「お母さんに声優になる！って宣言して愛媛から来たんだろ？」と励ましてもらったようです。母からは手紙を書きました。「実力のある友達が沢山いるかもしれないけれど、誰かと比べるのではなく自分に挑戦して下さい。しんどくなったら、しんどいと言って下さい。帰る家はありますよ。」頑張してほしい気持ちと、無理しないでほしい気持ちで複雑でした。返事はありませんでした。でも心配をしてくれている、見守ってくれている人がいることは分かって欲しかったのです。薬を用意してから1度も過呼吸が出ていません。安心できる環境にあることが大事なのですね。

先日、学祭があり演劇をしました。主役ではないけれど、自分の個性を100%出して頑張っていました。小学生までの目立ちたがりで、ひょうきんな息子に戻っていました。声優にはなれないかもしれない・・・でも青春を取り戻して欲しい。学生時代の経験は、きっとこれからの生きる力になってくれるはずです。  
(Sの母)

## 活 動

### ■ホットケーキ作り 10月26(日)

NPO法人はぴふる正会員さん家族でホットケーキを作りました。何度も作ってきたホットケーキ。今回もいつもの手順書を使って作りました。穏やかで幸せな時間です。



### ■避難訓練 10月1(水)

火災を想定した訓練です。手順書で自分の行動を確認し、ハンカチを口に当てて行動しました。



### ■夏の報告(かき氷作り) 8月14(木)



お盆休み直前の暑い日。  
仕事の合い間、小さな氷の粒がほんの少し涼を呼び込みました。

私たちは

『障がいを持つ人も持たない人も、ともに寄り添い、皆が生涯を通して幸せな日常生活が送れるように支援していきます。』